

募集要項

名称 催管費用
 主催者 船地
 参加費 日程
 参加資格

第43回JC青年の船「とうかい号」
 公益社団法人日本青年会議所 東海地区協議会
 公益社団法人日本青年会議所 東海地区 岐阜ブロック協議会
 274,000円
 ぱしふいっくびいなす号 (26,518トン)
 台湾 (中華民国) 高雄
 2016年6月5日 (日) ~ 2016年6月12日 (日)
 1. 原則として、愛知、三重、静岡、岐阜各県の年齢20歳より35歳位までの男女で、各地青年会議所理事長と輩出ブロック会長に推薦される人。
 (推薦資格については、各地の青年会議所にお問い合わせ下さい)
 2. 健康状態が良好で、軽い運動が含まれる長期の団体行動に耐える人。
 (特に心臓・胸部・精神性・伝染病疾患のない人)
 3. 青年として恥ずかしくない常識を備え、明朗で協調性に富み、団体行動に適応しうる人。
 (ア) 団体の規律に従い、出航から帰港まで終始団体行動を厳守しうる人。
 (イ) 今回の「とうかい号」の活動に関心を持ち、帰港後その成果を積極的に生かしうる人。
 (ウ) 第43回JC青年の船「とうかい号」オリエンテーションに参加できる人。
 4. 公的秩序を乱すことのない人。
 5. 過去に「とうかい号」への乗船経験のない人。
 6. 外国籍の方は、日本語で会話ができることを条件とします。

募集人員
 参加申込
 申込締切
 参加者の決定
 参加費納入方法
 振込先
 事前研修の参加
 キャンセルポリシー

416名
 参加希望者は下記の書類を添え、各地青年会議所までお申込み下さい。
 ①参加申込書 ②写真2枚 (縦4.5×横3.5cm) ③誓約書・推薦書 ④健康アンケート
 ⑤診断書 ⑥パスポートのコピー (日本国籍の方は、有効期限が2016年9月9日以降のものが必要となります。)
 第1次2016年1月29日 (金) / 最終2016年2月19日 (金)
 ※但し、定員になり次第締め切らせて頂きます。
 選考は第43回JC青年の船「とうかい号」事務局にて行います。
 参加決定通知書は必要書類提出後10日以内に送付します。
 参加決定通知書受理後2016年3月7日 (月) までにお振込み下さい。
 ※乗船決定通知後、原則として1週間以内にお振込み下さい。
 やむを得ず期限を過ぎてしまう場合は、「とうかい号」事務局へご連絡下さい。
 事務局指定の銀行口座を、参加決定通知と共にお知らせ致します。
 各ブロック協議会、各地青年会議所にて行われるオリエンテーション、さらには結団式 (2016年4月29日) に参加して頂きます。
 第43回JC青年の船「とうかい号」出航日前日から起算します。

キャンセル日	比率	金額
92日より前 (2月29日まで)	0%	0円
96日~91日 (3月1日~3月6日まで)	10%	27,400円
90日~61日前 (3月7日~4月5日まで)	40%	109,600円
60日~31日前 (4月6日~5月5日まで)	70%	191,800円
30日前~ (5月6日~)	100%	274,000円

- ・研修船であることを十分に認識したうえで、意欲と目的をもって参加すること。
- ・自由時間でも、スケジュールと規律を守ること。
- ・健康に注意し、長期の航海に耐える体力づくりをしておくこと。
- ・現地に関して、事前学習をしておくこと。
- ・早めに職場・家族の承諾を得て申込書に承諾の一言をもらっておくこと。
- ・結団式や乗船中、寄港地活動中での私物の紛失や破損については、責任を負いかねます。

参加にあたっての心得

「とうかい号」の詳しい情報はホームページをご覧ください

とうかい号 検索 <http://www.tokaigo.com>



公益社団法人日本青年会議所 東海地区協議会
 第43回JC青年の船「とうかい号」事務局

〒500-8178 岐阜県岐阜市清住町2丁目16番地 萬基ビル2F
 <開局時間 平日10:00~12:00、13:00~17:00 (土・日・祝休み)>

058-215-1443 (FAX) 058-215-1543 office43@tokaigo.com

主催：公益社団法人日本青年会議所 東海地区協議会 主管：公益社団法人日本青年会議所 東海地区 岐阜ブロック協議会

未知の世界を突き進め！

~一人ひとりの勇気が未来を変える~



この経験が、あなたの人生を変える!!

日程 / 2016.6.5 (日) ~ 6.12 (日)

洋上研修船乗船者募集



第1次締切

2016 1/29

最終締切

2016 2/19

過去に「とうかい号」に参加した

乗船者の声





第43回 JC 青年の船「とうかい号」では、初めて出会った仲間たちとの出会いから始まる、数々の未知の経験や日々繰り返される熱い語らいの中で、どんな苦難であってもたくましく乗り越えられる強さ、そして生きる強さを培って頂きます。

自分を成長させ、共に困難に立ち向かう情熱溢れる仲間との出逢いが必ずここにはあります。自分だけでは到底なし得ることの出来ない大きな夢であっても、支え合い助け合う経験を通じて、次代への新しい一歩を踏み出す力が誰にでもあることを知って頂ける研修船「とうかい号」にご期待下さい。

また、船内の研修だけではなく、寄港地では異国の歴史・文化を学び、現地の青年との交流を通じ、相互理解を深め、日本人としてのアイデンティティを再確認し、自国の将来また、住まうまちの将来を創るのは自分たちなのだという認識を持って頂く…。それらの過程で、今私たちは何をすべきかを自問自答し、答えを見つけて頂きます。

「とうかい号」で出逢う素晴らしい仲間たちと切磋琢磨しながら過ごす体験を通して、企業、地域に必要なとされる次世代のリーダーとして自己研鑽に努めて頂きたいと願っています。

ご乗船を心からお待ちしております。

乗船者の声

第42回 JC 青年の船「とうかい号」乗船者・企業様からの感動と感謝の声



「とうかい号」に乗船して、初めて知り合った職種の違い仲間とともに語り合い、時には口論し、助け合いながら一つの目標に向かい、充実した日々を過ごしました。

今までの私は、周りの目を気にしてしまっ、自分の意見をなかなか言い出せませんでした。今回の研修中に自分の意見を持ち、自主的に発言することが出来るようになりました。また、色々な業種の方と交流できたことで、ものの見方が変わり、仕事に対しても様々な角度から見て考え、取り組めるようになりました。皆の支えがあったからこそ乗り越えられた8日間は、私にとってかけがえのない財産となっています。集団の中で自分を活かす為の一歩を踏み出し、成長することができた実感しています。ありがとうございました。



今回、「とうかい号」乗船の話を頂いた際、参加するか悩みました。乗船を決めて、最初は不安でしたが、研修を終えた今、参加して本当に良かったと思っています。

研修船という日常とは隔離された一週間の中で自分自身を見つめ直し、皆を理解する事で家族や会社、仲間などに感謝する気持ちを養う事が出来ました。

また、寄港地活動(台湾)においては、国や地域の人との繋がり、思いやり心打たれました。

今までとは違った見え方、意見が出来るようになり、悩み事が減った気がします。



以前より「とうかい号」の存在は存じておりましたが、今回、青年会議所の方より研修船だという説明を受け、前年に頑張った社員を表彰旅行として乗せてみることにしました。

下船後、「とうかい号」では、これまで本人が経験してきた以上の深い人間関係を築けたと申しておりました。弊社の仕事はお客様と深く人間づきあいをするのが特徴です。「とうかい号」を終えてからは、ただ仕事としてこなすだけでなく、お客様と人間同士として、深くかわりを持つことに積極的に取り組んでくれるようになりまして、仕事に対する姿勢が大きく変わったと実感しております。

たった1週間で、これだけの研修成果を得られるは「とうかい号」だけではないでしょうか。今後も社員研修の一環として、乗船させたいと思っております。



弊社は、毎年「とうかい号」にリーダーシップ研修として、社員を乗船させていただいております。この船は、青年として、社会人として精神的に成長する為の研修の場が用意されていると理解しています。

乗船した社員たちはそれぞれ、自らを成長させようとする前向きな気持ちや、何か問題や課題につまずきかけた時でも、何か使命感を持って毎日の仕事を頑張っております。

本人にも会社にも、この「とうかい号」に参加することが確実にプラスになっていると思われま。

今後も継続して「とうかい号」乗船者を輩出させていきたいと考えております。

● 乗船者輩出をご検討されている担当者様へ

JC 青年の船「とうかい号」は過去42回に亘り東海4県の25,000名を超える青年に乗船して頂き、日本最大の洋上研修船として注目を集めて参りました。

そしてこの度、第43回 JC 青年の船「とうかい号」では8日間の洋上研修に加え、寄港地研修として国際交流を行い、異国の文化・風習に触れ、これからの日本人に不可欠な国際感覚と創造性を磨く絶好の場となるでしょう。

また、洋上での研修を経験することにより、未来を創るのは自分達なのだという認識を育て、企業、地域に必要なとされる次世代のリーダーとして自己研鑽に努めて頂きます。そして、8日間の研修で、その先に芽生える壮大な目標に向かい、価値観の異なる乗船者と切磋琢磨することで、必ず御社の未来を背負って立つ、無くてはならない逸材へと成長して頂きます。



団長
前田 創史

(公益社団法人 各務原青年会議所)

日本は、戦後の復興を経て高度経済成長により世界に誇る経済大国として発展を遂げ、その後も未曾有の震災や幾多の国難を乗り越えてきましたが、経済不安、閉塞感に覆われていると叫ばれている昨今、日本を明るく元気にするのは青年である私たちの使命です。礼節を重んじ、おもいやりの心をもち他に献身できる価値観を育ててきた我々は、日本人の精神性、自国を誇る国家観と歴史観を学び「心」ある国、日本を創造する必要があるのです。

1974年から、長きに亘りJC 青年の船「とうかい号」は洋上での集団生活と研修により、自立心や協調性をもつ青年の育成を続けてきました。また、寄港地での国際交流事業は、広い視野を与え、地域や自国への誇りを高めるだけではなく、民間外交の一躍を担う運動でもあります。第43回を迎える本船では、今の時代を生きる全ての人々が、時代の荒波を乗り越え新たな価値観を育み希望溢れる地域、日本を次世代へとつないていくために、海外の青年との国際交流を通じて、海外から見た日本の価値観の素晴らしさに触れ、それらの過程で、今私たちは何をすべきかを自問自答し、地域の未来を選択することのできる自国を誇る国家観とおもいやりの心をもつ、地域から必要とされるリーダーの育成に努めて参ります。

皆様とともに大海原へと旅立ち、世界から共感される日本人としての「心」をもつ、次世代に誇れるリーダーとして成長していきましょう。



本部長
橋本 尚史

(公益社団法人 岐阜青年会議所)

国内最大級の洋上研修船であるJC 青年の船「とうかい号」は、乗船者をご輩出頂いてきた東海地区の多くの方々のご支援とご協力のおかげをもちまして、今年で43回目の出航を迎えさせていただきます。洋上における船内研修と異国の地でおこなう寄港地活動によって、これまでに25,000名以上の若者が下船時には多くの気づきと一生の仲間を手に入れることで地域を牽引する原動力として活動する人材となっています。

今年の第43回 JC 青年の船「とうかい号」では、「未知の世界を突き進め！一人ひとりの勇気が未来を変える」をスローガンに掲げ台湾南部に位置し台湾第二の都市である高雄の地へ向けて出航します。船内で行なわれる8日間の洋上研修を通して未来を変えるにはまずは自分を変えなければならないこと、そして誰もが自らを変える力を持っていることに気づいて頂くことで自分らしく生きる勇気をもって頂きたいと考えています。また、寄港地での活動も含めて、日本人の歩んできた歴史や日本人の価値観を語り継いでいく大切さを伝え、「個」と「公」の調和こそが日本人の誇れる価値観であり、日本人の「心」として私たちにも確かに受け継がれていることを知って頂きたいと考えています。

最後にこのリーフレットを手にとられた皆さまにとって、JC 青年の船「とうかい号」に乗船した経験が人生を変えるきっかけになることをお約束してご挨拶とさせていただきます。

全航スケジュール

6/5 (日) 出航式
船内オリエンテーション

6/6 (月) 研修 ブロックナイト

6/7 (火) 研修

6/8 (水) 台湾寄港地活動

6/9 (木) 台湾寄港地活動

6/10 (金) 研修

6/11 (土) フェスティバル
さよならパーティー

6/12 (日) 帰港式

